

ともに学ぼう～国際交流会＆日本語教室～

国際交流会と日本語教室 万富公民館

万富公民館では、2019 年から毎月 1 回日曜日にマルシェ万富（地元市）が開催され、外国人と地元住民との交流が行われています。

2024 年に主催講座「国際交流会」がスタートしました。地元ボランティア「国際交流すすめ隊」と外国人と一緒に料理作り、七夕飾り、浴衣着付け、盆踊り、アオザイ体験、避難訓練参加を通して、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めています。



その後 9 月からは日本語教室を月 1 回のペースで開催し、地域で課題となっている交通ルールやごみの分別などのテーマも取り上げ、講師の下で国際交流すすめ隊がサポートに入りながら、日本語と日本での暮らしのマナーを外国人が学んでいます。

将来的には、万富公民館が外国人と地元住民の交流拠点となることをめざしています。



当事者やその家族・支援者が共に学び、 深めあう機会を求めて

みら☆くる 瀬戸公民館

瀬戸公民館の地域に暮らす発達障がい者・発達障がい児とその家族、支援者のみなさんが共に学ぶ機会の提供と交流を進めるため、2022 年から始めました。

月 1 回の講座で発達障害への理解を深め、必要な支

援のあり方、適切な支援の求め

方を学びました。具体的には、元高校教師による高校受験時の支援の求め方、地域の福祉事業所やグループホームの訪問など、必要な知識を学ぶ機会を積極的に設けてきました。

当初から、関係のみなさんが主体となった学習の場づくりをめざし、2025 年に当事者と家族の会「みら☆くる」が発足しました。今後も「みら☆くる」の活動を支援し、周知を進めていきます。



防災・安全安心

—地域の防災力を高める—

地域みんなの力で 防災・減災

防災キャンプ 妹尾公民館

子どもから高齢者までさまざまな住民が防災の視点で家庭や地域を見直し、いざというときに行動できる人になろうと、毎年防災キャンプ事業を実施しています。

2024 年は小学校の校庭と体育館で実施しました。参加者はグループに分かれて地震体験車や水消火器、防災ゲ



ームなどのブースを体験しました。

各グループのリーダーを中学生が担い、次のブースに移動するタイミングを計ったり、水分補給をするように促したり、参加者が活動しやすいように気を配りながらリードしました。

防災キャンプに関わった人たちは、参加者の動きを見ながら、実際に災害が起こった時にはどう行動したらよいか、何を用意しておくべきかなど、災害時の避難所運営についても自分ごととして考えるようになってきています。



防災は名前と顔を覚えるところから

3 学区防災交流会 操南公民館

操南中学校区内には3つの小学校区があります。「災害が起こった時、普段からつながりがなければ、協力し合うことは難しい」という声から、2019 年から3学区防災交流会は始まりました。



参加者は自主防災会の方や防災活動をされている方が多く、何度も参加するうちに、名前と顔を覚え、遠慮がちだった会話が気軽なものになりました。それぞれの防災活動を紹介し、それを聞いた他学区の方が、「今度自分の所でもやってみよう」とよい刺激を受けています。2021 年から中学校の先生も参加してくれ、中学校の防災学習への協力や地域の防災活動へのボランティア募集など、中学校と地域の連携が進んでいます。

女性の視点で地域防災をアップデート！

ぼうさい女子カフェ 一宮公民館



2018年の西日本豪雨では、一宮地域でも床上・床下浸水や土砂災害等の被害が出ました。翌年「女性のための防災講座」を開催したところ、高齢者から小さい子どもをもつ母親まで、幅広い年代の参加がありました。受講者からの「今後も違う年代の人たちと交流をもちたい」という声を受け、女性の防災サークルとして「ぼうさい女子カフェ」が誕生し6年目を迎えます。

これまで、家庭で取り組める防災について話したり、バッククッキングで蒸しパンを作ったり、能登半島地震の避難所へ支援に行った市職員のお話を聞いたりしました。おしゃべり会では、女性の立場ならではの意見が多く出され、継続して開催することで地域間の交流ができています。将来、講座で学んだみなさんが、地域のサロンやPTAの集まりで講師となり、地域の防災リーダーとして活動することをめざしています。



災害への備え～地域でのつながりづくり～

防災訓練発表会 高松公民館

高松中学校区では、3小学校区全てが独自の防災訓練を行っています。それぞれの情報を共有し、学びあい、つながりも深まればと、2013年から年に一度、公民館で「防災訓練発表会」を開催しています。

小学校区ごとに訓練の成果・課題などを発表し、防災士など外部講師に助言を受けています。テーマを設けての意見交換会では、「若い人にとってどう参加してもらうか」「日頃のつながりづくりが大切」といった課題や意見が活発にあがっています。

参加者からは、「他の学区のやり方を聞くことができて参考になった」と声があり、それぞれの地域防災・減災活動にいかされています。

災害に対する心がまえを再確認し、地域住民が一緒になって考える取組をこれからも続けていきます。

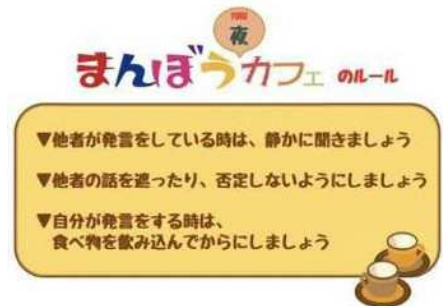


マンションだって被災するのです！

マンションだって被災する!?「まんぼう夜カフェ」 大元公民館

大元公民館が立地する桑田中学校区は岡山市の中心部にあり、マンションが立ち並ぶエリアです。

災害が起きた時、避難所ではなく自宅で安全に過ごすことも考えておきたいと、備えを始めたという住民の声が聞こえてきました。そして、その備えの大切さを広げたいと思った人たちが中心となって、公民館を会場に「まんぼう夜カフェ」を始めました。「まんぼう」はマンション防災の略です。カフェで話し合う中で「自宅の備えだけでなくマンション全体の備えも必要だ」と災害に対する住民の意識が変わってきました。



夜カフェで教わった情報をお手本にして自主防災会を立ち上げて活動を始めたり、先進事例を聞く勉強会を開いたり、住み慣れた場所を災害から守りたい、住み続けるためにできることを増やしたい、と願うみなさんの活動が広がっています。



学校×地域×公民館 楽しみながら防災を学ぶ！

TKB（高島・旭竜防災教育グループ） 高島公民館

TKB は、公民館からの呼びかけに応じて集まった 30 代から 50 代の防災士などによって結成されたグループです。学校と地域が協力しながら子どもや保護者を巻き込んだ防災教育をめざして活動しています。



主な活動として、小学 4 年生で防災・減災について学ぶ授業の導入部分で使用する動画の作成や出前授業を実施しています。さらに、授業の期間中に「たかしま防災クエスト」という小学生向けの体験型講座を企画・運営しています。「たかしま防災クエスト」は、「逃げ出した BOUSAI モンスターを捕まえよう！」という設定で、子どもたちが防災ミッションに挑戦する内容です。会場では中高生や大学生、消防署、企業などが協力し、それぞれ工夫を凝らした体験活動を提供しています。

いざという時に子どもたちが自分の命は自分で守れるよう、今後も TKB のメンバーは学校と地域が連携した活動に取り組んでいきます。



若者の地域参画

— 次世代への地域活動継承に向けて —

若者の力をまちづくりに

中高生ボランティアグループ「岡山 CENTRAL クルー」「旭企画」 旭公民館

2023 年の公民館夏祭りに関わっていたボランティアの中学 3 年生たちが高校生になっても活躍できるように、ボランティアグループ「岡山 CENTRAL クルー（OCC）」が結成されました。中高生あわせて約 30 名が登録しています。中学生は子ども夏祭り、高校生は文化祭での子ども向けクラフトコーナー、世界交流フェスタなどを企画・運営し、活躍しています。

また、小学校の統廃合を経て一つの学区になった経緯から、住民同士が地区を越えた交流と地域への愛着を育むことをめざし、大学生が地域の良さをいかした「歴史のまち歩き」を企画・実施しており、参加者に大好評です。

旭公民館は、2026 年に新たに岡山中央公民館として始動します。OCC メンバーからは、「新公民館は私たちが支えます」と力強い宣言をもらっています。



学びとつながりの循環の場をめざして

夏休み・冬休み子供勉強教室 福田公民館



夏休みと冬休みに、小学生の学習リズムを崩さず安心して勉強できる場づくりと、中学生・高校生が活躍できる場をマッチングできればという思いから、2023 年に活動をスタートさせました。

この教室には、中学生がボランティアとしてサポートに当たります。中学生は、事前に小学生への声かけや接し方について研修を受け、小学生の「わからない」を、自身の経験を基に一緒に考え、学習をサポートします。

冬休みには高校の書

道部生徒が書初めの宿題のサポートに当たります。

小学生の「できた!」「ありがとう!」の言葉に、中学生・高校生の自己肯定感が高まり、公民館を起点にトリプル WIN の関係が構築されています。

この教室に参加した小学生が、中学生になったとき、今度は自分がボランティアとして活躍したいという思いが持続可能な活動となり、若者の学びとつながりの循環の場になっています。



夏休みの講座で、中高生が大活躍!

さんなん きっずくら部 山南公民館

小学生向け講座「夏休みきっずくらぶ」があり、中学生は講座のお手伝いとして参加していました。それだけではもったいない!ということで、2024 年より企画段階から関わる中学生を募集し「さんなん きっずくら部」を結成しました。夏休みの講座の1コマを中学生が担当し、企画・運営に挑戦しています。何度も打合せをして、「スノードームづくり」などを小学生に体験



しても

行うことができました。小学生にわかりやすい説明を自ら考えている姿が頼もしく見えました。メンバーを増やすため、自主的に校内放送を行って一緒に活動する生徒を募集しました。今年は中学校を卒業した生徒も一緒に活動しています。

これからも子どもたちの主体的な活動を応援していきたいと思います。



子ども・若者を地域につないでいこう

上道（かみつみち）ボランティア部 上道公民館

中高生の地域での学びの場と地域参加の機会づくりのために、2023年に通年の登録制ボランティアグループを立ち上げました。上道中学校の生徒や卒業生を中心に約20名が登録しています。

キックオフミーティングで、今年度やってみたいことについて話し合い、世代交流ボードゲーム、世代交流ニュースポーツ、Summer Vacation Memories Festival（夏祭り）、ケーキ作りを計画しています。受け身のボランティア活動から一歩進

め、主体的な活動を行うボランティアグループへの進化をめざしています。

地域住民との世代を超えたコミュニケーションを図りながら、次世代を担う住民へと育ってくれることを願っています。



地域づくり隊全員で高島の人を笑顔に！

高島地域づくり隊 高島公民館

高島地域づくり隊は、2022年に高島公民館30周年を記念して発足した中高生によるボランティアチームです。「地域づくり隊の全員で、高島の人を笑顔にする+みんなもワクワクできること」をスローガンに掲げ、地域から依頼のあった行事に参加したり、自分たちでイベントを企画・実施しています。



チーム最大のイベントは、「たかしまキッズ夏祭り」です。コロナ禍で地域のイベントが中止になったため、子どもたちに夏休みの楽しい思い出をプレゼントしたいという隊員たちの思いから生まれました。隊員の思いに賛同してくれた大人たちとともに実施しています。地域づくり隊は、お化け屋敷とかき氷などを担当しました。会場には、子どもたち、地域の大人たち、そして隊員たちの笑顔がいっぱい集まりました。また隊員たちの発案で、後日収益の一部で購入した長縄とボールを母校の小学校へ寄贈しました。

若者の力でこれからの地域づくりを

中高生登録制ボランティア「チーム灘」 灘崎公民館



住民の高齢化、つながりの希薄化などの課題があり、地域の一員として若者に期待が寄せられています。これからの灘崎学区を支える人材育成をめざし、2017年に中高生登録制ボランティア「チーム灘」の活動が始まりました。



地域行事への協力だけでなく、「チーム灘」による独自行事（防災フェスティバル、夏まつり、ゲーム大会、環境活動など）の企画・運営も行っています。地域の方々の協力・連携により、若者の活躍の場が広がっています。特に防災に関しては、「チーム灘」の活動が刺激となり、地域住民と「チーム灘」合同で、フィールドワークによる「町内防災マップ」の作成、避難所開設初動訓練などを実施しました。

今後も「チーム灘」の活動によって、住民の交流を進め、地域が活性化するよう取り組んでいきたいと思っています。

岡山のキラリと光る「しごと」「働き方」

高校生×企業体験会 南公民館

岡山市には、SDGsに取り組んでいる企業がたくさんあります。しかし、高校生が地元企業のことを知る機会があまりないため、県外の大学へ進学すると、就職や転職を考える際に、岡山市の企業が選択肢から外されてしまうことがあります。



そこで、岡山市でSDGsに取り組む企業に「しごと」

「働き方」について直接高校生に伝えてもらう場をつくり、高校生に将来の就職先として興味・関心を持ってもらいたいと考えました。南公民館に隣接する岡山芳泉高校の生徒は、企業の方との交流や体験を通して各企業の良さを実感することができています。またそこで学んだことを企業や地域の方に発表することが、地元企業を知る深い学びへとつながっています。



環 境

—環境に関する意識の向上—

中学生がつなぐ未来の環境

海ごみを無くすために私達にできること 御南西公民館



御南中学校区は用水路が多く、かつては農機具や収穫した農作物を川舟で運んでいました。御南西公民館では、地域の用水や川のごみの現状を知り、2021年より川ごみについて関心を高めるための学習会に取り組みました。2023年には地域活動（ごみの回収）+環境教育（学び）の双方向から地域力を向上させ、海川ごみ問題の解決をめざす「みんなモデル」をスタートさせました。ワークショップで出された中学生のアイデアから、用水路に網を張ってごみの流出を調べる実験を行いました。

また、年2回の清掃活動では、地域の町内会と中学生が一緒に用水路のごみを回収し、分別を行うとともに、プラスチックごみについて学び、海ごみを無くすために自分ができることなどを考えました。

これからも、自分事として地域の環境を守っていく人の輪を広げていきたいと思います。



身近な生き物と親しもう

旭東自然観察隊 旭東公民館

公民館近隣の生き物について理解を深めることを目的の一つとしています。季節ごとに山や川に行き、私たちの身近な環境に多くの生き物が生息していることを学んでいます。例えば、長距離移動する



蝶として知られるアサギマダラがフジバカマを求めて毎年芥子山に飛んでくるのを観察しています。特定外来生物が生態系を乱すことなども学びます。

この講座に参加した児童や保護者は、初めて目にする生き物との出会いを通じて、自然への理解が深まったり前よりも自然に親しむことができるようになったなど、新たな価値観や行動の変容へとつながっています。

